

## 平成25年度 第3回 伊勢市地域自立支援協議会 会議要旨

開催日時	平成25年12月5日(木)午後7時～午後9時30分
開催場所	伊勢市役所東庁舎4-2会議室
出席委員	浦田宗昭委員、山路克文委員、笹山武志委員、中井眞知子委員 前村裕司委員、藤村隆久委員、松崎まみ委員、岡部浩美委員 山本とみ委員、齋藤茂委員
事務局	障がい福祉課長、係長、担当職員 伊勢市障害者総合相談支援センターフクシア職員2名
傍聴者	1名

### ○会議要旨

#### 1 障害者優先調達推進法について

「平成25年度伊勢市における障害者就労施設等からの物品等の調達方針」に基づく調達実績の取りまとめや次年度調達方針策定に向けた庁内スケジュール等を説明。

#### 2 特別支援学校卒業生等の就労継続B型事業の利用に係る経過措置への対応について

可能な限り就労移行支援事業所によるアセスメント実施により対応していき、不可能な場合のみ特別支援学校の進路資料等による障害程度区分認定審査会の意見を徴していくことを報告。

#### 3 障害者虐待防止法における通報および対応の状況について

県内及び市における通報件数等を報告。

#### 4 障害者保健福祉計画の見直しについて

- ・ 障害者計画を根拠とする障害者計画(H21～29)と障害者総合支援法を根拠とする障害福祉計画(H24～26)を平成26年度末までに見直し、平成27年度から32年度までの計画を策定予定。
- ・ 策定に際しては、計画策定懇話会を設置し、市民アンケート等を実施予定である。また、プロポーザル方式により業者選定し、業務委託を予定している。

#### 【各委員の主な意見】

- ・ 前回の計画策定では「声なき声をひろう」など市としての姿勢を明確にした上でアンケートを実施した。今回もモチベーションを保つためにもテーマのようなものはあるのか。  
〔事務局〕保護者、障害者団体や事業所等への聴き取りも含め、幅広く声を拾いたいと考えている。また、ニーズがあっても資源が無いなど、声なき声を

拾うため、各支援会議等からの報告提案様式の活用も周知徹底していく。

- ・ 拾った声をどうするか。計画に盛り込んで実現できうる目標を明記していく必要がある。そのためには網羅的にやるのではなく、スリム化が必要。
- ・ 業務委託については、委託する業務を明確にし、事務局との調整や進行管理を綿密に行う必要がある。市オリジナルの課題やそれに対する計画はしっかりと盛り込んでいくべきである。
- ・ 本協議会は計画を評価点検する立場であると理解するが、アンケート等については本協議会としても確認する必要があるのではないか。

**※次回協議会を追加開催し、協議継続することとなった。**

## **5 計画相談（特定相談）事業について**

- ・ 障害児通所支援を利用している児童について、平成 26 年度以降の支給決定更新時（新規も含む）に併せ、障害児支援利用計画の提出を依頼していく。また、現在、セルフプランの様式や作成支援等について検討中である。
- ・ 今後、市において、約 13 人程度の相談支援専門員の確保が必要（見込み）であることを説明するとともに、別途報酬シミュレーションを参考資料として提示。
- ・ 主な通所事業所を運営する法人を訪問し指定申請へ理解を求めている等、指定特定相談支援事業所立ち上げに向けた働きかけを報告。

## **6 各課題別検討チームの提案等について**

- ・ どうしても、せいかつ（福祉サービス関係）チームにおいて検討する課題や案件が多くなっている。せいかつチームからの提案として、生活介護事業所の少なさという課題に関する作業部会を設置したい。  
⇒協議会本会として了承。

**※次回協議会を追加開催し、協議継続することとなった。**